

自治労京都府本部新人組合員歓迎集会が開催 —若手組合員が交流を深めた！—

た。京交からは、三人が参り、岡本哲也書記長が「ようこそ」とて多くのことを学んだ。そ
れから自治労の組織構図や活動内容について説明が行われ、新人組合員へも積極的
に参加を呼びかけられた。玉口和毅は、上辻久光青年副部長と一緒に、手書き伝言ゲームをす
るなど参加者全員で交流を深めた。交流会の締めに、上辻久光青年副部長が、若



本局支部 伊吹紗織理さん(左)
生藤真也さん(右)

都市職員の代表として災害支援業務に携われたことを大変有難く思っています。今後も災害が発生した時には、今回の経験を生かし、他の職員に様々なことを伝えていくことが私の役割だと思いました。そして最後に、この8日間の経験は私の人生においてとても貴重なものになりました。

鳥丸営業所 毛呂 和生

二〇一六年五月二十四日から三十一日の八日間。熊本市西区役所にて罹災証明の発行案内を行い、現地では多くの貴重な生の声を聞くことが出来ました。震度七を二度受けた熊本の街は震源地から離れていても

す。熊本に行っているときは必死ですぐに派遣期間が終了しました。一日でも早い復興がされたことを心からお祈りいたします。

技術監理課 山田 嘉介

二〇一六年五月十一日から十八日まで熊本車北区龍田出張所公民館に京都車職員として熊本地震の支援に参加させてもらいました。八日間と短い期間でしたが多くの方と出会いい、現地の様子に衝撃を受けました。また、トラブルが発生するなど色々な問題にも遭遇しました。ですが被災された方が一日でも早く復旧できるよう懸命にケアを行いました。現地では、まだまだ復興に向けての見通しつかない状



も大きかつたよう思います。破壊している建物を実際に観察できただという面では勉強になりましたし、被災者の方との触れ合いを通して、地震から一ヶ月経ち過酷な状況下でも「生活していかなくてはならない」といった現実を目の当たりにして、自分にできることは本当に少ないな…と思いました。現地では、札幌や仙台の遠方からも、たくさんの方が応援に集まつてきました。微力ながら復興に携わる仕事ができ、かけがえの無い経験となりました。新入職員にもかかわらず、派遣を許可してくださった先輩上司の方々には、とても感謝しております。

来るのか？自分たちは簡単に出来てもお年寄りや障害者には不自由である事が多くあり、少しの心遣いや待つてあげる気持ちを持つ事の大切さや、また普段は何も出来なくても困っている人がいれば声を掛けてあげる気持ちが大事だと思います。その際には、車イスの方との会話は目線を合わせかがむこと、視覚障害者の方には真横に立ち「誘導します」と声を掛け腕を出する等、簡単な知識もあれば尚更良いと思います。知人は最後に「みんなは障害者予備軍やからいつどんなことで不自由になるか分からんよ」の言葉が心に残っています。どんな社会を目指すかの答えがそこにあるのではないでしょうか。

2016年度職員提案制度 車両工場竹田検車区の取り組みが「市長賞」を受賞!

り扱いを含めると、膨大な知識が必要ですが、経験で埋められていくのですが、職員や退職に伴い、技術の継承が大きな課題としました。従来、機器ごとに口頭で説明し方では、十分な経験を積む前に業務に従ければならず、作業に時間が掛かることがありました。これらの問題を改善すべく「機器入書」を作成しました。そのおかげで、業務効率が向上しました。また、これを統一し共有することによりヒューマンエラーを減少しました。手順書があることにより、従来では不可能であった「手順の予習」が可能となり、迅速な対応ができるようになりました。「技術の継承」という大きな課題に向かって積極的に取り組み、検査区の組織目標である「大きな輸送障害の防止」についていきたいと思います。



～おめでとうございます～



～表彰式の様子～

＝ 熊本県災害派遣報告 ＝



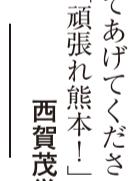
烏丸営業所
毛呂和生



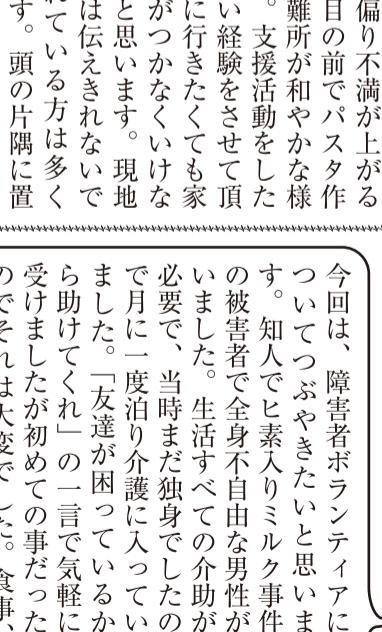
技術監理課 山田亮介



蓑田武



西賀茂営業所 西村 透



教宣部員のやうき

A small, stylized cartoon character's head, showing a smiling mouth and dark hair, positioned at the top right of the page.